

東京大学における科学研究費助成事業による研究活動の不正行為について（概要）

1. 案件概要

平成28年8月17日及び同年9月1日に、東京大学（以下、「大学」という。）分子細胞生物学研究所渡邊嘉典教授の論文につき捏造・改ざんの疑いがあるとの申立があり、各々8月22日及び9月1日に予備調査委員会を設置し、調査を行ったところ、申立に基づく本調査が必要と判断された。

科学研究行動規範委員会（以下、「規範委員会」という。）における本調査の結果、渡邊嘉典教授及び丹野悠司元助教について、3編の論文で捏造、4編の論文で改ざんが行われたと認定された。

2. 調査経過等

平成28年 9月14日 第1回科学研究行動規範委員会で予備調査結果審議
（以降、平成29年5月31日まで5回開催）

平成28年 9月20日 学外者6名を加えた11名による調査委員会設置

平成28年10月13日 第1回調査委員会開催
（以降、平成29年5月15日まで15回開催）

平成29年 5月31日 調査報告書提出

平成29年 7月 2日 不服申立書受理

平成29年 7月27日 不服申立を受けての再調査を行わないことを決定

3. 調査結果の概要

【不正行為について】

- (1) 渡邊嘉典教授は、責任著者である5編の論文で捏造、改ざんを行った。
- (2) 丹野悠司元助教は、筆頭著者である1編の論文で捏造、改ざんを行った。

【研究費の支出について】

- (1) 科学研究費助成事業の研究課題について、当該課題の実施状況報告書、実績報告書若しくは研究成果報告書に不正行為があったと認定した論文の記載があるもの、または当該不正論文の謝辞に同課題の記載があるものが計11課題あった。当該課題の研究内容・成果と同論文の内容に科学的・学術的な関連性が直接的に認められると判断したが、上記不正論文以外の論文・学会発表等も研究成果として同課題の報告書に記載されていることから、当該課題の研究活動は、研究目的及び研究計画に基づき、適正に遂行されていると判断した。
- (2) 上記(1)の研究課題のうち、渡邊嘉典教授を研究代表者とする2課題において、不正行為があったと認定した論文の作成過程における論文掲載料の支出が3件、合計641,408円あり、不正行為と直接的に因果関係が認められると判断した。上記以外の支出は適正に使用されたことを確認し、不正使用はなかったと判断した。

[関連する研究課題]

※不正行為と直接の因果関係が認められる経費の支出がある課題のみ掲載

(下記の関連する研究課題(2課題)を除く上記(1)の関係研究課題(9課題)については別紙参照)

<研究代表者: 渡邊嘉典教授>

① ・研究課題名 ゲノム伝達の中核にある染色体動原体の方向性を決める分子機構

・課題番号 21000010

・研究種目 特別推進研究

・配分区分 科学研究費補助金

配分額 平成22年度(文科省交付) 86,450千円

平成23年度 86,450千円

平成24年度 90,350千円

計 263,250千円

・不正行為と直接の因果関係が認められる経費の支出 396,988円

内訳 論文掲載料 154,297円(平成23年度)

論文掲載料(カラー印刷代) 242,691円(平成23年度)

② ・研究課題名 保存された染色体分配の制御機構

・課題番号 25000014

・研究種目 特別推進研究

・配分区分 科学研究費補助金

配分額 平成25年度 164,580千円

平成26年度 90,350千円

平成27年度 80,210千円

平成28年度 95,940千円

平成29年度 110,240千円

計 541,320千円

・不正行為と直接の因果関係が認められる経費の支出 244,420円

内訳 論文掲載料(論文カラー図版代) 244,420円(平成27年度)

4. 機関による措置

(1) 不正行為があったと認定した論文の取り下げ

平成29年8月3日付け文書にて不正認定を行った論文に係る取り下げ・訂正について勧告(1編撤回済み、2編訂正済み、2編訂正申し入れ中。)

(2) 大学における処分の状況

渡邊嘉典

東京大学教授

(現在、学内規則に基づき、在職者の懲戒処分に関する調査・審議が進められている。)

丹野悠司

東京大学元助教

(平成29年4月30日付退職)

関係研究課題

課題番号	研究種目	研究課題名	配分額	
			総額 (千円)	年度別配分額 (千円)
07J08366	特別研究員奨励費	減数第一分裂における還元分裂の制御メカニズムの研究	2,700	平成19年度:900 平成20年度:900 平成21年度:900
08J06497	特別研究員奨励費	オーロラキナーゼBによる、ヒトシュゴシンSgo2の局在制御機構の解析	1,200	平成20年度:600 平成21年度:600
08J08946	特別研究員奨励費	保存されたタンパク質シュゴシンの機能および局在化機構の解析	1,800	平成20年度:600 平成21年度:600 平成22年度:600
10J09396	特別研究員奨励費	I型カゼインキナーゼ依存的な減数分裂型コヒーシンRec8の切断制御機構の研究	1,400	平成22年度:700 平成23年度:700
10J04317	特別研究員奨励費	分裂期キナーゼハスピンによるSgo2の局在制御機構の解析	1,400	平成22年度:700 平成23年度:700
23870005	研究活動スタート支援	Bub1キナーゼの動原体局在化機構	1,690	平成23年度:1,690
24770180	若手研究(B)	適切な染色体分配を保障するセントロメア構造基盤の解明	4,550	平成24年度:2,730 平成25年度:1,820
12J10271	特別研究員奨励費	哺乳類細胞における動原体の方向制御機構の解析	2,000	平成24年度:1,000 平成25年度:1,000
26440093	基盤研究(C)	機能的インナーセントロメア形成機構の解明	4,940	平成26年度:2,210 平成27年度:1,170 平成28年度:1,560